

アナキズム・関係

●日本アナキスト連盟準備会……………(45年・近藤憲二・白井新平・等)

討論紙「先駆」第1号～3号(45年・二見俊夫・白井新平・等)

「無政府主義宣言」(石川三四郎 1945)

●解放青年同盟……………(46年～47年)

機関誌『解放青年』第1号～4号(1946～1947)

機関紙「解放ニュース」第1号～

●\*\*\*\*\* (46年・第二次・松尾邦之助・荒川畔村)

『虚無思想研究』第1号～4号(48年～51年・松尾邦之介・荒川畔村・編・星光書院)

●中国文化発行所……………(46年・栗原唯一)

『中国文化』第1号～18号(1946～1948)

●リベルテ発行所……………(48年・栗原唯一)

『リベルテ』第19号(「中国文化」改題)～23号(48年～49年)

『平和憲法の光をかかげ 栗原唯一追悼集』(栗原育子編集・発行 1980)

●日本アナキスト連盟……………(第一次・46～50年)

全国委員長一岩佐作太郎・書記長一近藤憲二・顧問石川三四郎)

機関紙(週刊)「平民新聞」第1号～129号(46年～51年・近藤憲二・遠藤斌・久保譲)

機関紙(旬刊)「平民新聞」第53号～59号(通巻130～138・広島・栗原唯一・久保譲)

機関紙(旬刊)「平民新聞」第5号～18号(通巻139～151・岡山・高畑信一・久保譲)

機関紙(月刊)「平民新聞」19号～21号(通巻152～154・大阪・逸見吉三)

〈機関紙(旬刊)「平民新聞九州版」第1号～50号(51年～53年・杉藤二郎)〉

討論誌『無政府主義会議』第1号～7号(48年～49年・向井孝・江口幹・小笹勉)

機関紙「青年労働者」第1号～(48年・日本アナキスト連盟青年部労働者協議会)

『無政府主義研究』(石川三四郎・組合書店 1947)

『無政府主義の原理と其実現』(石川三四郎・共学社 1949)

『自主的労働組合の話』(布留川信・組合書店 1948)

『天皇制を裁く』(白井新平・啓衆社 1946)

『墓標なきアナキスト像』(逸見吉三・三一書房 1976)

『戦後アナキズム運動資料』第1巻(緑蔭書房 1988)

●日本自治同盟……………(46年・二見敏夫・相沢尚夫・入江汎)

機関紙「自治同盟」第1号～4号(46年～47年)

「日本自治同盟宣言」(46年)

●自由社会新聞社……………(47年・宋世何・李耕人)

「自由社会新聞」第1号～4号(47年)

●自由社会主義同盟……………(48年・相沢尚夫・江口漢)

機関紙「解放」第1号～5号(50年)

● **IOM同盟**……………(47年・向井孝・山口英・高島洋・崎本正)

機関誌『IOM』

機関紙「イオム通信」

● **アナルコ・サンジカリスト・グループ(ASG)**……………(50年・逸見吉三・森原晋太郎・久保 譲)

機関紙「労働運動」第1号～

● **自由クラブ**……………(48年・松尾邦之介・大沢正道)

『アフランシ』第1号～36号(51年～57年・自由クラブ・アフランシ社)

『戦後アナキズム運動資料』第7巻(緑蔭書房 1988)

● **国際自由人協会**……………(50年・嶋津一郎)

機関紙「自由人新聞」第1号～243号(50年～72年)

● **日本アナキストクラブ**……………(51年・水沼辰夫・岩佐作太郎・八木舟三・布留川 信)

機関紙「日本アナキストクラブ」第1号～17号(51年～55年・綿引邦夫)

『日本アナキスト倶楽部』結成にあたって(水沼辰夫・第1号)

「小さなグループの小さな旗揚げ 近づく勝利のために準備しよう」(岩佐作太郎・第1号)

機関紙「無政府新聞」第18号号～24号(「日本アナキストクラブ」改題55年～58年)

機関紙「無政府主義運動」第25号～67号(「無政府新聞」改題58年～80年)

機関紙「アナキストクラブニュース」第1号(69年～)

『メーデーとアナキズム』(水沼辰夫・嶋津一郎・日本アナキストクラブ・1964)

「自治・大正期自律的労働運動の足跡」(水沼辰夫・JCA出版 1971)

『戦後アナキズム運動資料』第3巻(緑蔭書房 1988)

● **アナキスト連盟**……………(第二次・51～55年)

機関誌『リベルテ』第10号～16号(54年～55年・13号休刊)

討論誌『アナキズム』第1号～24号(52年～55年・13号休刊)

機関紙「自由共産新聞」第1号～8号(51年～52年・山口健二・植村 諦)

機関紙「自由共産新聞九州版」第1号～9号(51年・杉原一郎)

『アナキスト連盟基本綱領・情勢分析・運動方針・行動綱領・規約』(自由共産パンフレット1・1651)

『戦後アナキズム運動資料』第4巻(緑蔭書房 1988)

『戦後アナキズム運動資料』第5巻(緑蔭書房 1988)

● **日本アナキスト連盟**……………(第三次・55～69年)

機関誌『ひろば・ヒロバ』第1号～13号(55年～59年・ひろばの会・山口健二)

機関誌『無政府研究』第14号～17号(『ヒロバ』改題～61年・P・B・Kの会・山口健二)

機関誌『アナキズム』第18号～20号(『無政府研究』改題・山口健二)

機関紙「クロハタ」第1号～77号(56年～62年・副島辰巳・秋山清)

機関紙「自由連合」第78号～147号(「クロハタ」改題62年～69年・秋山清)

討論紙「日本アナキスト連盟ニュース」第1号～13号(関西地協・62年～63年)

- 機関紙「J・A・F連盟ニュース」第1号～10号・臨時号  
『労働者諸君に訴う！』（植村諦・日本アナキスト連盟 1956）  
『自叙伝』（上・下）（石川三四郎・理論社 1956）  
『筑豊の黒旗』（杉藤二郎・神戸共同文庫 1956）  
『自由と反抗の歩み アナキズム思想史』（大沢正道・現代思潮社 1962）  
『日本の反逆思想 アナキズムとテロルの系譜』（秋山清・現代思潮社 1960）  
『一無政府主義者の回想』（近藤憲二・平凡社 1965）  
『選挙について パンフレット①』（笹本雅敬 1963）  
『戦後アナキズム運動資料』第2巻（緑蔭書房 1988）  
『戦後アナキズム運動資料』第6巻（緑蔭書房 1988）
- 戦争抵抗者インターナショナル(WRI)日本部……………(52年・山鹿泰治)
- 機関紙「世界市民」創刊号～（山鹿泰治）  
機関紙「戦争抵抗者」第1号～15号（55年～）  
機関紙「非暴力直接行動」準備号～10号（74年・ウリ・ジャパン～向井孝）  
機関誌『直接行動』創刊号～3号・特別号（1970～77年）  
機関紙「Wri News Letter」第11号～100号（向井孝）  
機関紙「非暴力直接行動」第101号～192号（～94年・向井孝）  
詩集「ピラについて」（向井孝・WRI-JAPAN1983）  
『アナキズムとエスペラント 山鹿泰治 人とその生涯』（向井 孝・自由思想社 1984）
- 自由思想研究会……………(59年・高橋光吉・川谷仁・秋山 清)
- 『自由思想研究』第1号（遠藤斌・小松隆二・自由思想編集室 1960）
- 自由思想の会……………(60年)
- 『自由思想』第2号～7号（60年～61年・遠藤斌・小松隆二・「3号」～自由思想の会）
- 阪神労働者懇談会……………(60年・高島 洋)
- 機関誌『労働運動』第1号～6号（60年～62年）
- 労働と解放社……………(65年・高島 洋・平沢貞太郎)
- 機関誌『労働と解放』第1号～7号（66年～68年）  
『戦後アナキズム運動資料』第8巻（緑蔭書房）  
『戦後アナキズム運動資料』別巻（解説・総目次・索引—緑蔭書房 1988）
- 「黒と赤」の会……………(61年)
- 後方の会……………(61年・山口健二)
- 現代アナキズムの会(GAの会)……………(62年)
- 自立学校……………(62年～63年・山口健二・松田政男)
- 黒の手帖社……………(66年・大沢正道・秋山 清)
- 『黒の手帖』第1号～22号（66年～76年）
- 行動の会……………(64年)

- 無政府共産党……………(64年・松田政男・山口健二・笹本雅敬)  
機関紙「武装」第1号～(BBM通信社)
- 東京行動戦線……………(65年・山口健二・川仁宏・笹本雅敬・松田政男・石井恭二)  
機関紙「東京行動戦線」第1号・2号(65年・石井恭二)  
「行動組織について」(青江俊「東京行動戦線」2号・65年)  
『敗北の闘争—日韓闘争総括』(65年)  
『口もなし、舌もなし、喉もなし 河仁宏追悼集』(河仁宏追悼集刊行会 2005)
- 世界革命研究会(レポート社)……(67年～73年・山口健二・松田政男・佐々木省二・太田 竜)  
『世界革命運動情報』NO1～27(67年～71年・世界革命研究会)  
『世界革命運動情報』特別号1・2・3号(69年～71年・世界革命研究会)  
『国境を越える革命』(エルネスト・チェ・ゲバラ・レポート社 1968)  
『テロルの回路』(松田政男・三一書房 1969)
- 青年アナキスト連盟……………(65年)  
機関誌『黒色戦線』創刊号～(65年・黒色戦線編集委員会・地六社)
- 学生アナキスト連盟……………
- ベトナム反戦直接行動委員会……………(66年9月・島崎忠・笹本雅敬・山口健二・朝倉恭司)  
機関紙「反戦通信」NO1・号外～9号(66年)  
『ベトナム反戦行動委員会 死の商人への挑戦』(ベトナム反戦直接行動委員会 1967)  
『死の商人への挑戦 1966/ベトナム反戦直接行動委員会』(「アナキズム叢書」刊行会 2015)
- 叛戦攻撃委員会(ALW)……………(67年)  
機関紙「ALW叛戦」第1号(67年・黒層社)  
「ALW第一期闘争の総括—11・19総括集会報告」
- 黒層社……………(67年・朝倉恭司・青年アナ連+学生アナ連+アナルコ・サンチカリスム研究会)
- 現代アナキズム研究会……………(68年)  
『現代アナキズム研究』第1号～5号(68年～69年)
- 背叛社……………(67年・和田俊一)  
『無政府一直線』(和田俊一)  
「背叛社非政治資料・国体論並びに背叛革命」(和田俊一・1968)
- 黒色青年連盟……………
- 黒色学生連盟……………
- タナトス社……………(68年)  
機関紙「無政府主義革命」第1号～4号(タナトス社情報紙)  
機関紙「THANATOS」NO1～(斧の会69年)  
機関紙「神も主人もなく」?  
「背叛社事件がもたらした戦後アナキズムの崩壊」(「THANATOS」NO1)  
「新たな反権力組織結成にむけて」(「THANATOS」NO1)

- ギロチン社**……………(70年・久保 隆)
  - 情報紙「無政府 GUILOTINE」NO1～NO4(70年・ギロチン社)
  - 機関紙「黒色インターナショナル」I・II(70年～71年・視界社)
  - 機関誌『ギロチン』第1号～5号(69年～71年・視界社)
  - 『戦後アナキズム運動試論』(久保 隆・北冬書房 1976)
- ネビース社**……………(71年)
  - 機関紙「黒蛇」第1号・2号(71年)
  - 「アナキスト凜告」(ネビース社 1971)
  - 「闘うアナキズムの研究会を創出せよ」(2号)
- アナルコス編集委員会**……………(68年)
  - 『アナルコス』第1号・2号(68年)
- 早稲田反戦連合**……………(69年)
- 自由社会主義評議会(CSL)**……………(69年)
  - 機関誌『永久革命』第1号～3号(70年～麦社)
- 大阪アナキスト研究会**……………(67年?・山口 英)
  - 『大阪あなきずむ』創刊号～
- 関西アナキスト学生連合**……………(67年～)
- 関西反戦労働者連合(68年～)**
- アナキスト行動戦線**……………(関西反戦労働者連合から分離・関西・68年)
- アナキスト高校生連合**……………
- アナキスト革命連合(ARF)**……………(69年・千坂恭二)
  - 機関紙「自由と革命」第1号～3号(69年～70年)
  - 機関誌『無政府主義』準備号～(アナキスト革命連合東京支部)
  - 「世界観の獲得に向けて—マルクス主義の破産とアナキズム」(根来蒼生)
  - 『無政府主義(黒党)』(千坂恭二・加藤和男・黒党社・タナトス社 1970)
  - 『歴史からの黙示』(千坂恭二・田畑書店 1972)
- 無政府共産主義者同盟(ACL)**……………(71年・千坂恭二・根来 弘)
  - 機関誌『無政府共産主義』準備号～(無政府共産主義者同盟全国委員会・71年)
- アナキスト学生連合(ASA)**……………
  - 「無政府革命派宣言」(ARF発行)
- 社会革命戦線(SRF)**……………(71年)
  - 機関誌『社会革命運動』第1号～(71年)
- アナキスト革命連合「自由と創造」派**……………(70年)
- 麦社**……………(69年・秋山清・大沢正道・三浦精一・森原晋太郎)
  - 機関誌『麦社通信』VOL1～4(69年5月～)
  - 機関誌『乱』第1号～〇号(71年1月～)

機関誌『R』〇号～(72年3月～)

「MUGI— Information」NO1～5

『私の見た日本アナキズム運動史』(近藤憲二・麦社 1969)

『われらの内なる反国家』(大沢正道・内村剛介・編・太平出版社 1970)

『反国家と自由の思想』(大沢正道・川島書店 1970)

『全体革命への序説 アナキズムを超えるために』(大沢正道・麦社 1971)

『五月革命の考察 日本現代革命への教訓』(江口 幹・麦社 1971)

●**リベルテール**の会……………(69年・三浦精一・白井新平・河川充通・橋本義春)

『リベルテール』第1号～195号(69年～91年)

『日本アナキズム労働運動史』(萩原晋太郎・現代思潮社 1969)

『アナキズム運動年表』(萩原晋太郎・リベルテールの会 1970)

『アナルコ・サンジカルズム』(萩原晋太郎・リベルテールの会 1970)

『永久革命への騎士高尾平兵衛』(萩原晋太郎・リベルテールの会 1972)

●**リベルテール**舎……………(93年・萩原晋太郎)

『Le Libertaile』第196号～306号(93年～07年)

●**自由連合社**……………(69年・向井孝・尾関 弘)

機関誌『自由連合』第1号～40号(69年～72年)

『暴力論ノート』(向井孝・自由連合社 1970)

『現代のアナキズム運動 青年アナキストの武者修行』(尾関 弘・三一新書 1971)

●**京都アナキズム研究会**……………(69年)

機関誌『集団不定形』創刊号～7号(69年～70年)

●**黒色戦線社**……………(70年・大島英三郎)

『天皇制破壊の渦動』(大島英三郎・黒色戦線社 1971)

『無政府主義』(森戸辰男・1988)

『無政府共産主義 人類解放の道 八太舟三遺稿集』(八太舟三・黒色戦線社 1971)

●**日本アナキズム研究センター**……………(70年～)

『リペーロ』創刊号・2号(73年)

『アナキズム』第3号～8号(「リペーロ」継続74年～)

『リペーロ 73年夏のセミナー報告集』

●**アナキズム編集委員会**……………(75年)

『アナキズム』第9号～21号(～81年・日本アナキズム研究センターの継続・JCA出版)

●**アナキズム編集委員会**……………(81年)

『季刊アナキズム』(第二次)創刊号～4号(通巻22号～25号・81年)

●**季刊無政府主義研究編集委員会**……………(73年)

『季刊無政府主義研究』第1号～8号(季刊無政府主義編集委員会・JCA・73年～77年)

●**海燕書房**……………(73年・相沢尚夫)

『無政府共産党』(相沢尚夫・海燕書房 1974)

●「黒旗の下に」発行所……………(74年～81年・白井新平)

機関紙「黒旗の下に」第1号～13号・号外(74年～81年)

『わが自協史 黒旗の下に』(江西一三・黒旗の下に発行所 1974)

『江西一三自伝』(江西一三自伝刊行会 1976)

『奴隷としての天皇制』(白井新平・三一書房 1977)

●日本黒色連盟……………(75年)

機関紙「黒連」第1号～20号(75年～80年)

●無政府主義者連盟準備会「黒旗」編集委員会……………(75年)

機関紙「黒旗」第1号～

●東アジア反日武装戦線……………(79年)

機関誌『腹腹時計』VOL1～VOL3・特別号1・2(74年～80年)

機関紙「反帝反日通信」創刊号・2号・特別号(79年～80年)

『反日革命宣言—東アジア反日武装戦線の戦闘史』

(東アジア反日武装戦線KF部隊(準)・鹿岩社 1979)

『狙撃兵』第一弾～5弾・別冊資料(都立大〈哲学〉闘争委員会・黒川芳正・AJS出版会)

●「東アジア反日武装戦線」を救援する会……………(75年)

機関誌『東アジア反日武装戦線を救援する会通信』準備号1・第1号・第2号(1975～1978)

●AIT(労働者国際組合連合)に連帯する会日本連絡センター……………(80年)

『労働者国際組合連合』(AITに連帯する会・日本連絡センター1980)

機関誌『赤と黒の旗の下に』VOL1～3(…1980)

●労働者連帯運動(RRU—JAPAN)……………(AITに連帯する会の改称・83年)

機関誌『絶対自由共産主義』第1号～4号

機関紙「労働者の連帯」第1号～

機関紙「連帯」創刊号～30号(労働者連帯運動全国委員会・現代思想社)

●虚無思想研究編集委員会……………(81年・第三次)

『虚無思想研究』第1号～19号(81年～05年)

●自由思想社……………(83年・笹本雅敬)

『追悼笹本雅敬』(笹本雅敬追悼集刊行会 1989)

●関西アナキストの会(87年・高島 洋)

●アナキスト連盟一再建……………(88年～2014年・山口健二—関西アナキストの会の発展)

機関紙「自由意思」準備号・第1号～122号(山口健二・東谷岩人・池田和義・西塔昌弘 1988～2014)

『アナキズムから見たスペイン革命小史』(山口健二・私家版 1996)

『戦後革命無宿』(山口健二・私家版)

『アナルコ・コミュニズムの歴史的検証 山口健二遺稿集』(北冬書房 2003)

●A・A・Aの会……………(93年・山口健二・芹沢 康)

『黒の学校』第1号～(～98年)

●レポルト社……………(97年・松田政男・山口健二・山口智之)

『アナキズム季刊誌 叛』第1号～6号(97年～98年)

●「黒」発行所……………(00年～04年・水田ふう・中島雅一・向井 考)

『黒 La Nigreco』NO1～NO10(00年～04年)

『エージェナイカ, 花のゲリラ戦記』(98年水田 ふう・向井 孝 径書房 )

『直接行動派の時代』(向井考・「黒」発行所 2001)

『アナキストたち 〈無名〉の人びと』(向井考「黒」発行所 2005)

●アナキズム文献センター……………(70年第一次・95年第二次・05年第三次)

『文献センター通信』第1号～32号

●「アナキズム誌」編集委員会……………(01年・久保隆)

『アナキズム誌』第1号～19号(ばる出版 2001～)

『アナキズム読本 アナキズムとは何か?』(アナキズムFAQ編集コレクティヴ・2006)

○トスキナアの会……………(04年・大沢正道)

『トスキナア』創刊準備号・第1号～20号(トスキナアの会・皓星社～06年)

●関西アナキズム研究会……………(07年)

●自由労働者連合……………(08年)

機関紙「News letter BOTTOMS」創刊号～第20号(2008～)

●アナキズム紙編集委員会……………(20年)

機関紙「アナキズム」創刊号